



春を呼ぶひな祭り

山下上 山腰進

厳しい寒さと雪の今年の冬でしたが、日差しは強くなり、春の訪れが感じられる頃となりました。ひな祭りや端午の節句などの行事は他の地域と比べて1月遅れのこの地域ですが、今回は、来月行われるひな祭りについて、お年寄りから聞いた話として書いてみます。

4月3日に行われるひな祭りは、昔、蚕糸祭といわれました。餅まきの最後には、カマスといって、藁で編んだ俵のようなものを撒き、取り合いになったそうです。それをもち帰り繭の巣に入れると豊作になると言われていました。



ハウス内につるされた段ボールの枠の中で蚕が繭に(「宮村のあゆみ」より)

盛んだった時代、蚕が順調に育つのを願うての慣わしだそうです。一之宮でも今でも、作っている方がみえるのではないのでしょうか。(昔、米の粉で、繭のような団子ではなかったのですが、食べたのはこのことだったのでしょいか？すいとんとは違うと言っていました。)

歴史的にみると、養蚕から作られた生糸は絹となって、平安時代の朝廷の貴婦人の着物など古くから高級品に使われていました。江戸時代、大原騒動の時、11月15日はちょうど、蚕糸感謝祭の日で、繭の形をした玉石をもってお参りしており、武器とみなされて討伐されたと言われています。

明治時代以降には、殖産興業で製糸業が外貨獲得の一翼を担いました。その影響で、野麦峠を越え長野県の工場に向かった女工がうまれましました。戦後40年代くらいまでは一之宮でも飼育されていました。私の家でも、蚕を家の中で飼っていた記憶があります。

その後、高度成長期を迎え、ナイロン等化学繊維に替わり、養蚕業は衰退しました。ただ、繭繭づくりに使用したり、生産量は少なくとも、伝統的な形で引き継がれています。

ちなみに、今は女官の行列が有名となりましたが、それは、昭和27年、宮司の発案により始められたそうです。



犬の散歩のマナーについて

道端に犬のフンが放置されているなど、飼主のマナーが

問われています。犬を散歩させる時は人の迷惑にならないようマナーを遵守しましょう。

NHKからのお知らせ

BS放送受信時に「デジアナ変換」の文字が画面上に出ている場合は、デジタル変換チューナーなどの設置が必要となります。詳しくは、飛騨高山ケーブルネット㈱へお問い合わせください。(9月の契約更新時に各戸へは説明済)

「林業で働く機械が、モンデウスに!

~この秋、「森林・林業・環境機械展示実演会」が開催されます~

全国の林業機械メーカーによる最新の林業機械等の展示・実演会が、10月11日(日)・12日(月)の両日、モンデウスで開催されます。これは、今秋揖斐川町で開催される全国育樹祭の関連行事で、



図書館だより

3月3日(火)より、開館いたします。新しくなったOPACをぜひご利用ください。新たな特集とともに、お待ちしております。

今月の特集

『野球シーズンが始まるよ!』

春の選抜高校野球、そしてプロ野球開幕と野球好きには楽しみな季節です。今月の特集では「野球」に関する本を集めました。その中から一部をご紹介します。

- 『甲子園100の言葉』吉本誠/著 彩図社 2011年
『人生賭けて』金本知憲/著 小学館 2012年
『高校野球を200%楽しむ観戦読本』手束仁/著 実業之日本社 2013年

おはなし会の案内

日時：3月21日(土)午前10時30分
場所：飛騨位山文化交流館内
一之宮分館
内容：手遊び、絵本の読み聞かせ
事前申し込みは必要ありません。直接図書館へお越し下さい。

公民館から

- 展示コーナー
澤田勇油絵展示(3月末まで)
3月の公民館定休日
9日(月) 22日(日) 23日(月)
3月の位山交流館定休日
2日(月) 9日(月)
16日(月) 23日(月)
30日(月)

Table with columns for date (日) and event (行事内容). Events include '宮保育園卒園式' on 24th and '宮小卒業式' on 23rd.

Table titled '一之宮町の人口情勢' showing population statistics by age group and gender for 8,177 households.

2月1日現在・単位：人 3

つぎやき

「男は敷居を跨げば七人の敵あり」といことわざがあるが、男が家を出て世の中で活動する時には、必ずたくさんの競争相手や敵がいる、という意味らしい。自分は農家で人間関係の敵はあまりいないので、物や事で自分としての「七人の敵」を考えてみた。まず今の敵は、雪。この冬はまさに大雪にやられた。そして春になると、農家にとっては、害虫・害鳥

情報端末機器の使い方についてのアンケート結果

一之宮まちづくり協議会では昨年10月、宮小中PTA主催の講演会「ネット社会に潜む影」にちなみ、情報端末機器に関するアンケートを実施しましたので、その結果を報告します。(回答数は宮小児童111人、同保護者128人、宮中生徒87人、同保護者83人、高校生15人、同保護者31人)

Table showing the number and percentage of households with various devices like game consoles, internet, and email.

Table showing usage of internet-connected devices like game consoles, internet, and email by school level (Elementary, Middle, High School).

Table showing the number of people with internet connection restrictions, categorized by age group and protection status.

Table showing smartphone usage statistics, including the number of filters and protection responses.

特産の「まゆびな」最盛期



色とりどりの様々なまゆびなを慣れた手つきで作る会のみなさん

一之宮町の特産品、蚕の繭を使う「まゆびな」が、ひな祭りの時期を迎え、2月から3月にかけて出荷のピークを迎えています。

「まゆびな」は全部で8種類あり、値段は350円から高いもので5段飾りの3万5千円まで。玄関に飾る手頃なものは3千5百円から1万円と人気があります。

現在会員募集中。興味のある方は代表の古川さんまで。購入は高山西商工会（水無神社前）で。郵送も受け付けています。問い合わせは高山西商工会（電話 531-3112）



宮景

節分祭

祝詞（のりと）を奏上して、いよいよ最後に豆まき。神職が参拝者の代表らとともに豆まきを行うと、途中から神樂方が扮した赤鬼が登場して場を盛り上げます。退散する鬼を横目に、熱心に豆を拾う人もいました。節分を境に立春に。いよいよ、春はもうそこです。



威勢よく豆をまく神職や参拝者代表

恒例の飛騨一之宮水無神社の節分祭が2月2日と3日の2日間にわたり開催されました。この祭りには飛騨を中心に県外を含めて約3千人の参拝者が訪れます。

今年もたくさんの方が訪れ、1日12回ほどに分けて行われるという神事は、時間帯によって控室は満杯状態になり、廊下で待つ人もいるくらいです。

参拝者を接待する方も大変で、当日の準備から受付や会計、案内、物品の渡しなどに、町内の氏子総代や神社役員、それに一般の有志の方など総勢60人ほどが奉仕にあたります。

節分といえば豆です。この日のために敬神婦人会が袋詰めをしますが、その数は2月中の参拝者分なども含めて2万4千袋にも及ぶそうです。

さて、本殿では神職が開運、厄除け、家内安全などの

「一之宮まゆクラフトの会」が「ひな丹精」

一之宮まち協だより

一之宮まゆクラフトの会「ひな丹精」

第10号

平成27年3月1日

一之宮町
まちづくり協議会
広報委員会

高山市一之宮町3087
電話 53-2424



劇を通じて感謝の言葉を述べる2年生

3年生も下級生の心意気を感じ、合唱で感謝の気持ちを伝えました。3年生は、公立高校入学試験や卒業式を控え、緊張している中、心温まる思いをしたことと思います。

一之宮の子どもたちが、先輩、後輩の関係を再認識し、感謝の気持ちを互いに伝え合うよい機会になったようでした。

6年生の幼児期の写真がステージのスクリーンに写しだされる中、一人ひとり思い思いの表現をしながら登場しました。

送る会は学年ごとに、運動会などの行事、集団登校や休み時間のふれあいなどを通じた「6年生ありがとつ」の気持ちを精一杯、大きな声で表現していました。

どの学年も、6年生への感謝の気持ちを込めるとともに、自分の1年間の成長を見せてくれるような内容の発表をしていました。また6年生に感謝のメッセージを伝えるプレゼントが送られています。

6年生も、下級生の温かい思いを受け止め、全児童一人ひとりに対して感謝と思いやりの言葉をかけていました。



反省会に集まった委員会のメンバー

2月22日に一之宮公民館でまち協女性委員会の役員や理事、支部長など25名ほどが集まって反省会が行われ、その場で1円玉募金とタオルを集めました。

反省会ではこの1年間を振り返り、地区ごとの活動や全体の活動について、また情報の伝え方などについて、意見を交換しあいました。

地区ごとの活動では、新しい出会いや交流が深まったという感想があり、全体活動では、蕎麦打ち体験、ピザ焼き体験などがよかったですという意見がありました。

情報の伝え方では「まち協だより」の利用の仕方などについて意見が交わされました。

1年間の成果として、各地区の地域力を実感できたこと、地域に講師を務めるひとがいることが分かったこと、今後の活動に生かせるということがあげられました。

宮中から11人が出場
平成26年度全国中学校スキー大会
第52回全国中学校スキー大会が青森県で開かれ、宮中からは11人が出場した。

全国東陸中学スキー大会
平成26年度全国中学校スキー大会が青森県で開かれ、宮中からは11人が出場した。



アルペン競技で滑降する黒木健斗君

宮中学校在法務省人権擁護局及び全国人権擁護委員連合会から感謝状の贈呈を受けました。

これは、宮中学校在法務省人権擁護局が全国中学生人権作文コンテストに毎年参加し、特に今年度は83人が応募するなど、人権意識高揚への取り組みが評価されたものです。

今年度応募のうち高山人権擁護委員協議会最優秀賞には早船妃恵さん（3年）、同優秀賞には岩井日南さん（1年）が選ばれました。

宮中では生徒会活動でも、いつでもどこでも誰にでもあいさつする、相手を「さん」付けで呼ぶ、SNS（ソーシャルネットワークサービス）を正しく使う、といった活動が行われており、学校をあげて人権活動に取り組んでいます。



感謝状を手にする後期生徒会長山腰美花さんと前期生徒会長の早船妃恵さん

東海北陸中学生スキー大会が、クロスカントリー競技が富山県たいらスキー場で1月27日に開催され、宮中からは清水宝、役田陽（以上1年）、幅上翔太、谷口晴基（以上2年）の4人が出場しました。このうち幅上翔太君が男子5 Kmフリーで8位に入りました。

アルペン競技は福井県九頭竜スキー場で2月12・13日に行われ、宮中からは野中大資、黒木玲名、大幡万弥（以上1年）、黒木鉄太、渡瀬詩織、黒木健斗（以上2年）の6人が出場し、男子S.L.で黒木健斗君が見事3位入賞を果たしました。

森県大鰐温泉スキー場を会場に2月6日から8日にかけて開催されました。宮中からはアルペン競技に3人、クロスカントリー競技に1人出場しました。参加選手は次の通りです（敬称略）。

アルペン競技
黒木健斗 渡瀬詩織（以上2年）、西田隆誠（3年）
クロスカントリー競技
幅上翔太（2年）

宮中に入権擁護の感謝状 全校あげて擁護活動

女性委員会が反省会 各地区の地域力を実感

宮小で6年生を送る会 「ありがとつ」精一杯

宮中3年生を送る会 感謝の気持ちを伝え合う